
九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 10 月 20 日 第 343 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の発行日は平成 28 年 11 月 4 日（金）となります。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・石井国土交通大臣が5回目の熊本地震被災現場等を視察～益城町テクノ仮設団地や阿蘇神社などで復旧状況等を～
- ・平成 28 年度九州運輸局鉄道等無事故表彰及び鉄道関係功労者等表彰を行いました～10 事業所と 89 名が受賞されました～
- ・熊本県において客貨混載による輸送がスタート～全国で 4 例目～
- ・バス乗車の際はシートベルトの着用を！～九州自動車道基山PAでリーフレットを配布～
- ・第 20 回海事立国フォーラム in 北九州が開催されました～アジアへのゲートウェイとしての北九州～

2 お知らせ

- ・「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2016 in 九州」と「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」を、26 日（水）、27 日（木）に開催します
- ・「省エネ促進フォーラム 2016 in 福岡～人と地球にやさしい運輸を目指して～」を開催します
- ・2016 年ものがたり観光行動学会 第 6 回年次大会 九州広域観光シンポジウム「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」が開催されます
- ・国交省政策チャンネルで動画「霞が関からお知らせします 2016 ～地域公共交通の活性化と再生～」がご覧になれます
- ・九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆石井国土交通大臣が5回目の熊本地震被災現場等を視察～益城町テクノ仮設団地や阿蘇神社などで復旧状況等を～

◎石井国土交通大臣が、10 月 16 日に今回で 5 回目となる熊本地震被災現場等の視察を行いました。

◇概要

・10 月 16 日（日）、熊本県内の被災地等で復旧状況等を視察、石井国土交通大臣ほか、国土交通省、観光庁、九州地方整備局、九州運輸局等

◇内容

①熊本県知事との意見交換

②視察

・熊本城、益城町復興市場、益城町住宅被災箇所・区画整理事業箇所、益城町テクノ仮設団地（居住者との意見交換を含む）、阿蘇大橋地区、阿蘇神社

③石井大臣の会見

（記者）「熊本地震から半年経ったが、各地を視察しての感想は？」

（大臣）「全体的に見ると復旧は確実に進んでいる。大きな被害を受けた熊本城や阿蘇地区はまだまだこれから。今後とも被災者の皆さんのために、政府一丸となって熊本県、市町村と共に全力で取り組んで参りたい。」

（記者）「10月8日の阿蘇山噴火の影響は？」

（大臣）「思ったより噴火の影響は無かったとの印象。正確な情報を発信し、風評被害を押さえる努力をする。」

◇九州運輸局からのメッセージ

・益城町テクノ仮設団地での視察では、住民の方だけでなく九州産交バス株式会社の森社長とも意見交換もされ、地震からの復旧・復興に向け精一杯努力されている人たちの声を聴かれました。会見での大臣発言「被災者の皆さんのために」、この言葉を忘れることなく息の長い支援をみんなで行っていきましょう。

◇石井国土交通大臣の視察の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_1.pdf

◆平成 28 年度九州運輸局鉄道等無事故表彰及び鉄道関係功労者等表彰を行いました

～10 事業所と 89 名が受賞されました～

◎九州運輸局では、鉄道の事故防止に長年努力された 10 事業所と、多年にわたり鉄軌道関係事業所に勤務し職務に精励された 89 名の方々を表彰しました。

◇概要

・10月14日（金）、ソラリア西鉄ホテル（福岡市）にて表彰式を執り行い、鉄道等無事故表彰の 10 事業所・鉄道関係功労者 89 名（従業員の部 46 名、運転関係従事員の部 35 名、動力車操縦者の部 8 名）に表彰状を授与。

◇式典内容

・開式の辞

・式辞（佐々木 九州運輸局長）

・表彰状授与（九州運輸局長から鉄道等無事故表彰の 10 事業所と、鉄道関係功労者表彰の受領総代 6 名（従業員の部 3 名、運転関係従事員の部 25 名、動力車操縦者の部 1 名）へ表彰状を授与

・来賓祝辞（倉富 九州鉄道協会会長）

・受賞者代表謝辞（運転関係従事員の部：窪田金光様・島原鉄道株式会社）

※受賞者名簿はこちらの URL からご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_8.pdf

◇九州運輸局からのメッセージ

・地球環境にやさしく、都市間輸送や公共交通機関として地域に大きく貢献している鉄軌道。安全の確保は運輸事業の最も基本とすべきものです。そして、安全・安心の外にも定時性や快適性の確保等も求められている中で、日々職務に励まれ、今回の九州運輸局長表彰を受賞された10の事業所、89名の皆さま、誠にありがとうございます。これまでのご努力とご精励に敬意を払いますとともに、今後一層のご活躍をお願いいたします。

◇表彰式の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_2.pdf

◆熊本県において客貨混載による輸送がスタート

～全国で4例目～

◎産交バス株式会社とヤマト運輸株式会社による客貨混載バスの出発式が開催され、全国で4例目となる目新しい輸送事業がスタートしました。

◇概要

・10月3日（月）、人吉市の産交バス株式会社人吉営業所（熊本県人吉市）にて、産交バス（株）とヤマト運輸（株）による客貨混載バスの出発式が開催。
・出発式には、熊本県をはじめ客貨混載を実施する産交バス五木線の沿線自治体（人吉市、山江村、相良村、五木村）の首長及び熊本県バス協会、熊本県トラック協会、熊本運輸支局などから数多くの方が出席。

◇内容

・式典では、産交バス、ヤマト運輸のマスコットや沿線自治体のゆるキャラが勢揃いする中、山江村の幼稚園児も参加し、バルーンリリースや出発するバスに手を振るなど式典を盛り上げ、大変華やかな出発式に。
・この事業は、昨年6月の岩手県での全国初導入以降、同年10月に隣県の宮崎県で、今年9月には北海道で導入され、今回熊本県での導入が全国で4例目。
・まだまだ目新しい事業であることから、多数の報道機関の取材もあり、また道行く市民も足を止めて出発式を見物する光景も見られ、客貨混載バスへの関心の高さが伺われた。

◇熊本運輸支局からのメッセージ

・この度の客貨混載事業は、運送事業者（産交バス、ヤマト運輸）と自治体とが相互連携を図り、路線バスによる宅配貨物の輸送を行うことで、過疎化や高齢化が進む中山間地域におけるバス路線の維持と物流の効率化による地域住民の生活サービス向上を目指すもので、持続可能な公共交通の実現と地域経済の活性化に資する取組として大いに期待されています。

今後も、人口減少地域への積極的な客貨混載事業の導入に向け、自治体、路線バス事業者、トラック事業者への周知と取組促進に努めていきます。

◇出発式の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_3.pdf

◆バス乗車の際はシートベルトの着用を！
～九州自動車道基山P Aでリーフレットを配布～

◎佐賀運輸支局では、平成28年秋の全国交通安全運動期間中に貸切バス事業者を対象にシートベルト着用徹底の呼びかけを行いました。

◇概要

・9月23日(金)、九州自動車道基山P Aにて、佐賀運輸支局職員が駐車中の貸切バス事業者の運転者に、「バス乗車の際はシートベルトを締めましょう」と記載されたリーフレットを配布し、また、運転者から乗客へのシートベルト着用の声掛けや装着状況の点検等、聴き取りを行い、安全運行への取組状況の確認を実施。

◇内容

・6台の貸切バスに対し実施。
・配付リーフレットは、日本語版と外国語版(英語、中国語、ハングル語の3カ国語で表記)の2種類、「シートベルトを着用しないと、高速道路で約9倍 一般道路を含めると約14倍 命の危険性が高まります!!」と注意喚起を促すもの。
・既にリーフレットを入手し車内に掲示している車両や、一部のバスでは自社で作成したDVDを車内で放映し、お客様へシートベルト着用の周知を図っている事業者も有り。

◇佐賀運輸支局からのメッセージ

本年1月15日に長野県軽井沢町にて貸切バスが反対車線を越え道路下に転落、乗員・乗客15名が死亡し、乗客26名が重軽傷を負うという重大事故が発生しました。被害が大きくなった要因の一つとして、乗客の多くがシートベルト未着用であったことが指摘されています。シートベルトの着用は衝突時の被害を軽減したり、車外放出の危険性を低くする効果があり、道路交通法でも全ての座席においてシートベルトを着用させるよう運転者に義務付けされていることから、国土交通省と警察庁では貸切バス事業者に対しシートベルトの着用徹底を周知しているところです。今後も同様な取組を実施し、貸切バスでのシートベルト着用を励行し、輸送の安全確保に努めていきます。

◇シートベルトのリーフレットはこちらからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_4.pdf

◆第20回海事立国フォーラム in 北九州が開催されました
～アジアへのゲートウェイとしての北九州～

◎公益財団法人日本海事センター主催の「第20回海事立国フォーラム in 北九州2016」が北九州市にて開催され、アジアと北九州の物流に関する講演等が行われました。

◇概要

・10月12日(水)、リーガロイヤルホテル小倉(北九州市)、運輸・物流事業関係者など約250人が参加

◇内容

・主催者挨拶：小幡 政人・日本海事センター会長

- ・【講演】「アジアの物流と北九州」重田 雅史・国土交通省大臣官房物流審議官
- ・【特別講演】「最近の国際物流の変化―パナマ運河拡張工事の影響を中心に―」星野 裕志・九州大学大学院経済学研究院教授（日本海運経済学会会長）
- ・日本海事センターの調査研究報告
 - (1) 「北九州の海事産業」臼井 潔人・日本海事センター企画研究部次長
 - (2) 「一帯一路構想下における中国海運業の動向」本図 宏子・日本海事センター企画研究部研究員
- ・第20回海事立国フォーラム in 北九州の詳しい内容は、(公財)日本海事センターのホームページをご覧ください。
<http://www.jpmac.or.jp/forum/index.html>

◇九州運輸局からのメッセージ

重田・国土交通省物流審議官の講演では「アジアとの地理的優位性と陸海空ネットワークが充実した北九州ではあるが、現状、その特性を活かし切れていない、今後、国際競争に耐えうるためには物流の高度化、高品質化に対応することが重要である。また、北九州がアジアのゲートウェイとして発展していくためには、国土交通省が推奨するモーダルシフトの活用や北九州空港と福岡空港の連携など陸海空の輸送機能強化に取り組み、物流生産革命の実現を目差す必要がある。」との提言がなされました。九州運輸局においても北九州の物流の更なる発展に必要な役割を果たしていくこととしています。

◇フォーラムの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_5.pdf

2 お知らせ

◆「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2016 in 九州」と「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」を、26日(水)、27日(木)に開催します

九州運輸局では、九州地方整備局と共催で次のとおりシンポジウムを開催します。お席には若干余裕がございますので、ぜひお早めに申込みください。

◇「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム2016 in 九州～熊本の復興に向け、地域公共交通が果たす役割～」

- ・日時：平成28年10月26日(水)13時00分～17時30分
- ・場所：TKPガーデンシティ博多新幹線口5階プレミアムホール（福岡市博多区博多駅中央街5-14）
- ・プログラム：次のURLをご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_10.pdf
- ・定員：240名（申込先着順、まだお席に余裕があります）
- ・参加料：無料（どなたでも参加できます）

◇「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」

- ・日時：平成28年10月27日(木)9時30分～12時20分
- ・場所：TKPガーデンシティ博多新幹線口5階プレミアムホール（同上）
- ・プログラム：次のURLをご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_11.pdf
- ・定員：240名（申込先着順、まだお席に余裕があります）
- ・参加料：無料（どなたでも参加できます）

◇申込み方法

・次のURLから参加申込書が印刷できます。必要事項をご記入のうえメール又はFAXにてお申し込みください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_6.pdf

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関でお越し下さい。

※駐車場割引サービスはございません。

◆「省エネ促進フォーラム 2016 in 福岡～人と地球にやさしい運輸を目指して～」を開催します

九州運輸局では、地球温暖化問題の理解を深め、人と地球にやさしい運輸を目指すために、種々の取組情報を共有し、今後の省エネルギー対策の参考としていただくことを目的として、例年「省エネ促進フォーラム」を開催しています。

今年度は11月11日（金）、福岡市で「省エネ促進フォーラム 2016 in 福岡」を開催します。

フォーラムでは九州工業大学の西名誉教授による基調講演や、省エネ対策の取組事例紹介を行うとともに、運輸部門での環境保全の活動に著しい功績のあった事業者等を顕彰する「九州運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰」（環境保全部門）の表彰式も行う予定です。

どなたでも参加できますので、多数のお申し込みをお待ちしております。

なお、お申し込みは下記 URL より所定の申込用紙をダウンロードして事務局までファックスをお願いします。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_9.pdf

◆2016年ものがたり観光行動学会 第6回年次大会 九州広域観光シンポジウム「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」が開催されます

JR豊肥線は大分市～熊本市を結ぶ都市間交通の役割を持つとともに、大分県においては竹田市と大分市の間を結ぶローカル鉄道としての機能を持っていましたが、4月の熊本地震により、現在も熊本県の一部地域が不通となっております。

このような現状を踏まえ、「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」をテーマに、JR豊肥線沿線の観光価値を再検証し、九州全体をゆったり移動する観光スタイルが潮流となる可能性を考えるシンポジウムが開催されますので、お知らせします。

・日時：2016年11月19日（土）12:30～

・会場：大分銀行 宗麟館2F（JR大分駅・上野の森口・南に徒歩3分）

・参加申込先：日本文理大学 COC 事務局

・申込み方法：ネット申込（専用サイト） <http://coc-nbu.jp/monogatari-kanko>、
電話受付 097-524-2663（平日9:00～17:00）

・詳しくはこちらのリーフレットをご覧ください。

http://monogatari-kanko.org/pdf/20160809_reaflet.pdf

◆国交省政策チャンネルで動画「霞が関からお知らせします 2016 ～地域公共交通の活性化と再生～」がご覧になれます

国土交通省ホームページのトップページ「国交省政策チャンネル」は、国土交通省の様々な「施策」「事業」「取り組み」の中から、普段はなかなか見えてこない活動をピックアップし、皆様にもっと知っていただけるよう、わかりやすく紹介することを目的としています。

こちらの URL からぜひご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/channel.html>

◆九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

こちらの URL からどうぞ。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/?url=informations>

—— 3 九州運輸局ホームページアップ情報 ——

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより ///////////////////////////////////////
朝夕や雨の日は秋の気配を随分感じるようになってきました。空にも鱗（うろこ）雲が、、、翳（いわし）雲？

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_7.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
